

令和 6 年度 第 1 回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録

会議の概要

開催日時		令和 6 年 7 月 17 日（水）13 時 30 分から 15 時 00 分まで	
開催場所		多摩区役所 11 階 1101～1103 会議室	
出席者の氏名	委 員	一柳宗義（多摩区民生委員児童委員協議会） 大澤敏夫（川崎市多摩区社会福祉協議会） 小川町子（多摩区食生活改善推進員連絡協議会） 和秀俊（田園調布学園大学） 岸忠宏（多摩区医師会）	楠静子（多摩区老人クラブ連合会） 坂本顕隆（多摩区町会連合会） 坂本利枝（多摩区地域自立支援協議会） 島峯諭（多摩区商店街連合会） 須山祥聖（登戸地域包括支援センター）
	多摩区地域包括ケアシステム推進本部幹事会・多摩区支え合いのまちづくり推進会議事務局	佐藤直樹（多摩区長） 林史大（危機管理担当課長） 大塚裕司（総務課長） 相原剛史（企画課長） 上野進（地域振興課長） 柏原美由紀（生涯学習支援課長） 吉澤朋充（生田出張所長） 大津美和（区民課長） 石渡慎也（保険年金課長） 大田祈子（児童家庭課長） 小泉朋子（高齢・障害課長） 高橋みゆき（保護第 1 課長） 根岸友絵（保護第 2 課長） 瀧澤祐子（保育所等・地域連携担当課長） 南奈保美（学校・地域連携担当課長） 岡本幸夫（道路公園センター管理担当課長）	武田克巳（地域みまもり支援センター所長） 浅見政俊（地域みまもり支援センター副所長） 中山礼子（地域ケア推進課長） 曾我利江（地域支援課長） 杉本光一郎（地域ケア推進課企画調整係長） 高橋公（地域ケア推進課企画調整係）
	関係者	舟橋健之（川崎市多摩区社会福祉協議会地域課長）	
欠席委員		小山富士子（多摩区子ども会連合会） 眞壁総子（多摩区こども総合支援連携会議）	
議 事		（１）第 6 期多摩区地域福祉計画の評価について （２）第 7 期多摩区地域福祉計画について （３）地域包括ケアシステム構築に向けた令和 6 年度の多摩区の実践について	
傍聴人の数		なし	

配付資料	[配布資料] 資料1…名簿 資料2…多摩区支え合いのまちづくり推進会議について 資料3…第6期各区地域福祉計画（令和3～5年度）における評価に係る考え方について 資料4…第6期多摩区地域福祉計画 令和5年度評価 資料5…第6期多摩区地域福祉計画 令和5年度事業評価シート 資料6…地域包括ケアシステム構築に向けた令和6年度の主な取組について 参考資料1…多摩区支え合いのまちづくり推進会議運営要綱 参考資料2…令和5年度第4回多摩区支え合いのまちづくり推進会議会議録 [冊子資料] 第6期多摩区地域福祉計画 冊子、概要版 第7期多摩区地域福祉計画 冊子、概要版
-------------	--

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局（中山課長）	次第1（開会）
	（会議録作成のため録音の承認）
佐藤区長	次第2（挨拶）
事務局（中山課長）	・配布資料の確認
事務局（中山課長）	次第3（委員の自己紹介）
事務局（高橋）	次第4（多摩区支え合いのまちづくり推進会議について）
	資料2の説明
事務局（中山課長）	進行調整役を和委員にお願いしたい旨提案→承認
和委員	僭越ながら進めさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。 それでは次第に従い議事を進行する。 議事（1）について 事務局から説明をお願いします。
事務局（高橋職員）	次第4（議事）
	（1）第6期多摩区地域福祉計画の評価について 資料3、4、5の説明
和委員	初めて委員となられた方は分からない部分もあるかと思う。地域福祉計画の評価は結構難しい。資料5を御覧いただくと、左側の取組状況には数字で評価をすることが多いが、地域福祉は数字だけで評価することが難しいので、それに加えて区役所や現場の評価を組み合わせる評価することが重要である。 御自身の関わる事業等について御意見ををお願いしたい。 大澤委員から地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGÉ～について簡単に御説明いただいてもよいか。
大澤委員	菅地区内の様々な団体が話し合いをしている。グループごとの話し合いもあり、これまで知らなかった団体と意見交換ができて有意義だと感じている。取組の発表や共有もあり、和気あいあいとした良い取組である。
和委員	テーマ型で様々な方が関わりやすい取組であり、町内会や地域に関わっていけるユニークかつ大事な取組だと思う。 資料5の8ページの多摩区食生活改善推進員連絡協議会の支援について、高い評価がついているが、小川委員から感想についてお話しいただきたい。
小川委員	昨年度から野菜をたくさん摂取することや減塩の講義に力を入れている。高齢者向けにはシニアカフェにおいてフレイル予防について講義している。これまで若者向けの料理講習会の実施のハードルが高く苦労していたが、栄養士の協力を得てGoogleフォームを活用した参加申し込みを行ったり、チラシに二次元コードを掲載してそこから申し込んでもらったりと工夫をした。若者を対象とするときは今後も同じようにやっていくのがいいと感じた。
和委員	若者のニーズを捉えていたということだと思う。地域の活動において若者と一

発言者	発言要旨
	緒にするときのいいヒントになったと思う。 私も2点ほど気になった事業がある。資料5の5ページのパサージュ・たまについて、区役所の評価に今後のパサージュ・たまのあり方や方向性についての記載があるが、あり方や方向性は具体的にどのようなことを想定しているのか。
事務局（杉本係長）	区内障害関係事業所で構成されているが、実施要綱で障害児者が活動する自主団体もしくは非営利の団体のみが参加できるとされている一方で、株式会社などの営利法人が障害福祉サービス事業に参入しており、こうした団体がパサージュ・たまに参画できないことは、障害当事者が区民や当事者同士の交流の機会が確保されないという課題があった。障害当事者にとってより良い事業となるよう、障害福祉サービス事業を実施する営利団体のパサージュ・たま参加について、実施要綱の改正を含めて検討する、という主旨である。
和委員	多摩区の特徴的な取組であるが、いまのご時世に柔軟に対応できるような検討を進めているとのことなので引き続きよろしくお願ひしたい。 もう1点、資料5の12ページの多摩区子育て支援パスポート事業について、私も子育ての際に活用させていただいた多摩区の特徴的な事業だが、区役所の評価に見直しに向けて多摩区商店街連合会と意見交換をしたとの記載があるが、具体的にどのような意見が出たのか。
事務局（杉本係長）	令和4年度のアンケートで、利用頻度が少ないという意見や、どこのお店で使えるか分かりやすくしてほしいなどの意見があったことから、協力店ステッカーを新たに作成し協力店に掲示した。ステッカーには、子育て支援パスポートホームページの二次元コードを掲載してサービス内容にアクセスしやすくした。また、各店舗が、有効期限を視認しやすいようにするため、パスポートカード表面に有効期限を明記した。
和委員	島峯委員から意見や感想をお願ひしたい。
島峯委員	事業当初から携わっているが、利用者と実施者とで意識の乖離がある。中野島北口通り商店会で実施したイベントにおいて、72枚のパスポートカードを発行した。1回でも利用された方には我々のイベントで利用できる金券を配布したりお菓子を渡すなどの工夫をした。個別の店舗では例えばだが商品の割引やサービスの提供が受けられたりするが、協賛店が少なかったりうまく機能しない部分もある。現実として割引やサービスだけでは難しい点があるので、イベント等で活用してパスポートの有効性を感じてもらえるような活動をしたいと考えている。
和委員	私が子育て時に利用させていただいた頃とは状況も変化したと思う。地域福祉の課題にどうつなげていけるか一緒に考えていけたらと思う。 議事（2）について 事務局から説明をお願ひする。
事務局（高橋職員）	次第4（議事）
	（2）第7期多摩区地域福祉計画について 冊子資料 第7期多摩区地域福祉計画の説明

発言者	発言要旨
和委員	冊子も概要版も心温まる絵が掲載されている。レイアウトも第6期計画から変更しており、読みやすく手に取りやすい計画になっている。 一柳委員から御感想をいただきたい。
一柳委員	多摩区には地区民児協が8つあるがそれぞれ特色がある。私の所属する地区民児協では任期が1期目の人と2期目の人が多く全体の7割を占めている。どのように活動したらいいのか悩みながら務めている人もいる。コロナ禍で民生委員になった人もおり、担当する地域にどんな人がいてどんな活動をしているか把握しきれていないという課題があるため、稲田中野島地区民児協としては、町内会や行政、警察などの関係機関と連携をとることに力を入れていきたいと考えている。一方で、そういった関係機関も縦割りになっていて連携が取れていないというのが実情だと思う。事務局の説明を聞いて、いろいろなところでいろいろなことが考えられているのだということがわかったので、今後も勉強していきたいと感じた。
和委員	第7期計画の冊子の35、36ページを御覧いただくと、民生委員児童委員の紹介が掲載されている。全国的に民生委員のなり手が不足しているという大きな課題がある。計画には「そうなんだ」ということが知ることができる情報が掲載されているので、新しく民生委員になられた方々も再任の方々も計画を手にとっていただき活用いただければと思う。 楠委員から御感想や御意見をいただきたい。
楠委員	基本目標2の多世代交流でつながる地域づくりについて、シニアに限らず子どもたちとも連携をとって、いまは失われている昔の童謡や遊びを伝える場所を作りたいね、という話が出ている。また、保育園や幼稚園とのつながりを作ってイベントで交流できたらいいと考えている。
和委員	高齢者のフレイル予防について、読み聞かせというのは子どもにもシニアにも良い効果があるといわれているので、そういったことにも取り組んでいくとよいのではと思った。 議事(3)について 事務局から説明をお願いします。
事務局（杉本係長）	次第4（議事）
	（3）地域包括ケアシステム構築に向けた令和6年度の多摩区の実践について 資料6の説明
和委員	多摩区町会連合会の坂本委員から町会の取組などを含めて御意見をいただきたい。
坂本顕隆委員	事務局から説明のあったものに、区町連として直接関係している取組は少ないが、町会も担い手不足という課題がある。昔は65歳になると退職して地域活動に戻ってきたが、今は70歳くらいまで仕事を続ける人が多く、ほとんど地域での活動ができない。町会には民生委員をはじめとするいろいろな委員の推薦依頼が来るが、なり手がおらず私も16ほどの委員を兼務している。そういう中で、委員として知った情報を地域に持ち帰り、役立つ情報を伝えていきたいと考えて

発言者	発言要旨
	いる。
和委員	3年間、皆様からアイデアや御意見をいただければと思う。 以上をもって議事を終了する。進行を事務局へお渡しする。
事務局（中山課長）	和委員、議事の進行ありがとうございました。委員の皆様もいろいろな御意見をいただきありがとうございました。閉会にあたり、地域みまもり支援センター所長の武田から御挨拶を申し上げる。
武田所長	次第6（閉会）にあたり挨拶
事務局（中山課長）	以上をもちまして令和6年度第1回支え合いのまちづくり推進会議を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。